

令和5年度第1回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	令和5年6月2日(金) 開 会 15時00分 閉 会 17時10分		
2 場 所	寒川第2庁舎203会議室		
3 出席者	市長		大山 茂樹
	教育委員会	教育長	和田 浩二
		委員	檜原 秀樹
			得丸 慶子
			多田 俊
			西尾 由香
	事務局	教育部長	佐藤 美由紀
		教育総務課長	安倍 潤
		学校教育課長	高西 恵
		学校教育課主任指導主事	白井 和紀
生涯学習課長		細川 史朗	
幼保こども園課長		酒井 有紀	
人権推進課長		山田 謙二	
教育総務課課長補佐		多田 端子(会議録調製者)	
その他説明等のため出席した者		なし	
4 会議に付した協議・調整事項	<p>(1) 市内小学校及び中学校のICT教育について</p> <p>(2) 部活動の地域移行について</p> <p>(3) その他</p>		
5 特記事項	傍聴人 1名		
6 会議内容	<p>開 会</p> <p>教育総務課長 ただ今から、令和5年度第1回さぬき市総合教育会議を開会します。この会議は原則公開としています。傍聴者については、さぬき市ケーブルネットワークの取材関係者1名のみとなっていますので御報告します。 なお、議事録を会議後に公表することを申し添えます。 それでは、開会に当たり、市長から御挨拶をお願いします。</p> <p>市長 (挨拶)</p> <p>教育総務課長 続いて、教育長から御挨拶を申し上げます。</p>		

教育長	(挨拶)
協議・調整事項	
教育総務課長	それでは、協議・調整事項に入ります。 ここからの議事進行については、さぬき市総合教育会議運営規程に基づき、市長をお願いします。
市長	それでは、議題に入ります。 (1) 市内小学校及び中学校のICT教育について、学校教育課長から現状と課題等について概要説明を行った後、学校教育課主任指導主事による電子黒板のデモンストレーションを行います。
学校教育課長	(「資料1 市内小学校及び中学校のICT教育について」を説明)
主任指導主事	(「電子黒板のデモンストレーション」を実施)
市長	市内小学校及び中学校のICT教育についての説明と電子黒板のデモンストレーションが終わりましたが、御質問や御意見がありましたら、どなたからでも結構ですのでお願いします。
教育委員	ICTは便利なツールですが、ICTを使った方が効果が出る内容とそうでないものをしっかりと見極めて、使っていただきたいと思います。
教育委員	子どもはICT機器の利用に慣れており、学校でも家庭でも普通に使っています。ICTは、指導のツールの一つとして、効果的な場面で使うべきだと思いますが、まだ学校現場で共通理解が図れていないのが現状ではないかと思います。教員が「活用できる能力」を上げるために、学校での研修が大事だと思います。
教育委員	ICTを使うことが目的ではありません。使うことで効果が出ないと意味がありません。また、ICTを使うことによって、先生方の負担が軽くなれば良いのですが、かえって忙しくなると、働き方改革につながりません。
教育委員	ICTは、便利なツールですが、そのツールが普及して、長い時間画面を見るので目が悪くなる、漢字が書けない、何を書いているのか分からないといった子どもが増えている気がします。便利なツールに振り回されることなく、書くという基本的なことを大事にしてほしいと思います。
教育委員	ICT教育については、ICTのメリットの方をクローズアップすることが多いように思います。デメリットも考える必要があります。問題点を3点あげます。1点目は、子どもが機器を使用することで起きるトラブルです。トラブルが起きないように、機器の制限やモラルの徹底が必要です。2点目は、教員の授業力の問題。昔は、机間指導といって、教師一人ひとりが子どもの近くまで寄って行き、学習の進捗を確認したり、状況に合わせて個別に指導を行っていました。ICTを利用したとしても、全体を把握し、子どもの学びを第一に、しっかりと計画を立てて、授業をすることが大事です。3点目にネット依存についてです。情

	報に関するリテラシーについて、今一度学校が考えるべきです。道徳、学活等の授業で十分に指導できる体制を構築する必要があります。
市長	今は、過渡期であり、学校現場は大変だと思いますが、近い将来、有効活用できるようになると思います。様々な面において、バランスをとりながら、活用してほしいと思います。教育長としては、どのように考えますか。
教育長	今後、ICTを身近なものとして、学校現場で使っていくことは、明らかです。長所、短所があるのは、当然のことだと思います。比較的、若い先生方は、有効活用できると思いますが、苦手な先生もいらっしゃいます。どの先生も同じレベルの授業ができるようになるのが理想なので、今後、ICT支援員を配置して、レベルアップを図っていきたいと考えます。
市長	実際に、学校現場におられた先生の意見をお願いします。
主任指導主事	委員の方々の意見でもありましたが、今までのやり方とICTをうまく融合させた授業ができるよう、研修を重ねることが大事です。教育委員会としては、授業の技術を上げる、授業の工夫ができる、そのために、優れた講師を招いた研修を行うなどの支援に取り組んでいきたいと考えます。
市長	先生方も努力して、ICTの使い方について学び、ただ単に使うというのではなく、目的と手段を明確に区分して、上手く利用する必要があると考えます。 また、ICTについては、進むスピードが速いということも問題だと思います。「教科書を教える」のではなく、「教科書を使って教える」と同じ様に、「ICTを使って教える」という考えのもと、取り組んでほしいです。過渡期でもあるので、問題も多いですが、何とか頑張ってもらいたいです。 問題点の中にあつた「タブレット端末の持ち帰りがほとんど実施されていない。」というのは、どういうことですか。
学校教育課長	端末を持ち帰って、学習するという活用方法が定まっていないので、持ち帰りについては、うまく運用できていないのが現状です。
市長	現状として、タブレットの持ち帰りによる学習の方法が構築されていないということでしょうか。有効活用できるのであれば、端末の持ち帰りを実施すれば良いのではないのでしょうか。当然、使う上でのトラブルや依存等については、気を付ける必要があるので、指導を行った上での実施となりますが。
教育長	デジタル教科書の導入が進んでいます。今は過渡期ですが、導入が進むにつれ、端末の持ち帰りは必要になってきます。 ただ、端末を持ち帰って、ユーチューブを視聴するなど、学習以外に利用する子どももいるので持ち帰りについては、学校も慎重になっています。

教育委員	ユーチューブなどを見ることは、学びではなく、ただ見るだけになるので、勉強にはなりません。保護者の立場で考えると、動画が見れないように制限をかけてほしいです。
教育委員	デジタル教科書が導入されつつあるので、今後、持ち帰って自宅でタブレットを使って勉強することができるようになります。ただ、タブレットを使える環境ではない家庭もあります。そういった場合、何らかの支援が必要になります。今後、試行錯誤をしながら、ICT教育の環境を整備し、ルールを確立させながら、地域と都会でデジタル教育の格差が生じないようにする必要があります。
市長	ICT教育については、若い先生の意見も取り入れながら、学校現場の教員の授業力を上げていく必要があります。使い方のルールも確立しないと、子ども達の視力の低下なども予想されます。この問題については、現場の意見を聞きながら、今後も議論を重ねていきたいと思います。
市長	続いて、「部活動の地域移行について」の議題に移ります。この問題については、全国の教育委員会が悩んでいるのではないかと思います。まず、部活動の位置付けですが、教育の一環かどうかということです。教員の働き方改革の一つとしての施策だと考えられますが、部活動の指導が教員にとって必須のものかどうかです。どういう位置付けですか。
教育長	部活動については、中学校学習指導要領に明記されていますので、読みあげます。「教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。」このようにうたわれています。
市長	そうすると、部活動は、教育課程外の位置付けということなので、数学や英語などの教科とは異なり、プラスアルファのものになりますね。
教育委員	私自身も市長と同じように、部活動の位置付けについて考えていました。この問題については、最終的にどういったものを目指すのかを明確にしないと、子ども、教員、子どもを支える保護者の間で混乱が生じます。指導者、送迎、多くの課題があります。まずは、目指す方向を共通理解することが大事だと考えます。
教育委員	部活動を地域に移行するのは、簡単ではないと思えます。大会やコンクールはどうするのか。地域に指導者が見つからない場合の対応はどうするのか。費用は、誰が負担するのか。様々な課題があり、非常に難しい問題だと思えます。

市長	<p>教員の側からではなく、子どもの側から見た地域移行を考える必要があると考えます。</p>
教育委員	<p>部活動の主体は、子どもなので、教員の都合で決めるのは、少し違うのかなと思います。子どもにとって何が良いのかを考えるべきです。先生の働き方改革の一環であり、休日に部活動の指導はしたくないという先生がいらっしゃることも理解できます。専門外の部活動を指導している人は、特にそう思うはずです。一方で、専門の部活動を指導している先生は、地域の指導者に任せることはできないと考えます。現状としては、6割の先生が専門外の指導に当たっているようですが、本当に難しい問題で、地域に移行すると、指導者の資質、活動場所などの問題があります。活動場所についても、現実的に学校外で活動するのは、難しいのではないかと思います。また、大会は、休日に開かれることが多いので、どのように対応するのか。緊急時の対応は、どうするのか。様々な課題があります。非常に難しいと思います。</p>
教育委員	<p>指導者、子ども、指導者の家族もみんなが幸せになれるような部活動の在り方を考えていくべきです。以前は、家族を犠牲にして部活動の指導を行う先生もいましたが、今は少し違います。また、勉強が苦手な子は、部活動を頑張るという風潮も以前はありましたが、今は、両立の時代です。</p> <p>また、若い先生ほど、休日は自分の時間を大事にしたいと考える人が多い傾向にあります。先生も家庭があるので、それを考えずに、先生に部活動の指導を期待するのは、少し違う気がします。</p>
教育委員	<p>部活動の指導をしたくないと考える先生がいることが、アンケートの結果から分かりますが、その結果に驚いています。部活動は、教育の一環であり、挨拶や礼儀など学習の中では学ぶことができない大事なことを学べます。大会で勝ちたい子、強くなりたい子は、クラブチームに入るという選択肢もあります。</p> <p>地域の指導者については、国が認定した指導者を均等に配置するなどの措置をとってほしいです。</p>
市長	<p>国の文科省、県、市の教育委員会が教育の一環として、部活動をどのように位置付けるのか。先生の働き方改革の観点からだけではなく、子どもの選択の幅を広げるという意味も考えながら、共通認識を持って取り組んで行く必要があるように思います。昔は、部活動に一途な先生が多くいましたが、今はそういう時代とは少し違い、先生方も休暇を大事にします。</p>
教育委員	<p>今現在、専門で部活動を指導している教員で指導を続けたい人は、地域移行となっても、指導者として参加できるようになっています。教員の本来の仕事を中心として、部活動はプラスアルファという考えが良いのではないかと思います。</p>
教育委員	<p>運動部活動で競技力を身につけたいのであれば、クラブチームへ行く</p>

	<p>というのは、選択肢の一つですね。部活動で、競技力を高めて、大会に勝って、県大会や全国大会へ行くのが目標という考えは、改めるべきではないかと思えます。休日は、先生方も休むのを原則とすれば良いのではないかと思えます。一方で、保護者の意識の改革も必要かと考えます。</p>
教育委員	<p>私たちは、部活動で成長した世代です。部活動は友達を作る場でもあり、上下関係や団体行動を学ぶ場でもあると思えます。できれば、学校で部活動をしてほしいと考えます。</p> <p>ただ、学校の先生方にも休日は休んでほしいという考えもあります。例えば月曜日から金曜日まではA先生、休日はB先生という体制にして、複数の先生で対応するのはどうでしょうか。先生が複数いらっしゃっても指導が同じ内容であれば、子どもは混乱しないはずです。そういった、体制を構築するのも必要かと考えます。</p>
教育委員	<p>学校現場の先生の立場からすると地域の専門の方が指導してくれるのは、ありがたいことです。特に専門外の部活動の指導に当たっている先生は、特にそう思うはずです。学校の先生と地域の指導者が共通の課題を共有して、一緒に指導をすることが可能であれば、地域移行が円滑に進むのではないかと思えます。</p>
市長	<p>本年8月に、県の教育委員会との意見交換会がありますので、その場で参考になるような意見や情報等がありましたら、皆さんに提供したいと思えます。部活動が持続可能な活動となるよう、今後とも御意見を賜りたいと思えます。</p> <p>一人ひとりの小さな幸せを積み重ねることで、社会全体が良くなり、それがまた一人ひとりの幸せにつながると信じています。ICT教育、部活動の地域移行等、施策を進める中で、委員の皆さんの専門的な助言は不可欠です。今後も、これまで以上の御理解と御協力をお願いして、総合教育会議を閉じたいと思えます。</p>
閉 会	
教育総務課長	<p>以上をもちまして、令和5年度第1回さぬき市総合教育会議を閉会します。</p>